

令和7年度学校経営計画書

三次市立十日市中学校
校長 藤井 清美

I 学校の状況

(令和7年4月1日現在)

学 級 数	通常学級9 特別支援学級3 (自閉情緒・知的)	計 12 学級
生 徒 数	1 学年 89 名 2 学年 102 名 3 学年 100 名 計 291 名 < 1 学年 > 通常学級 84 名 特別支援学級 5 名 (自・情 4 知的 1) < 2 学年 > 通常学級 96 名 特別支援学級 6 名 (自・情 3 知的 3) < 3 学年 > 通常学級 96 名 特別支援学級 4 名 (自・情 2 知的 2)	
教 職 員 数	校長 1、教頭 1、総括事務長 1、教諭 24、養護教諭 1、学校支援員 2、教育支援員 1、障害児介助指導員 1、主事 1、市費事務職員 1、校務員 2、スクールサポートスタッフ 1、非常勤講師 5 (県費体・特2・市費国・英・数 3)、スクールカウンセラー 1、スクールソーシャルワーカー 1、部活動指導員 3、特別非常勤講師 2、ALT 1、	計 50 名
メー ル ア ド レ ス	tohkaichi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp	
H P ア ド レ ス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/tokaichi-j/	

II 教育目標

<小中一貫教育目標> 地域を愛し自律と貢献の志をもつ児童生徒の育成

【十日市中学校教育目標】 知性・人格・勤労を尊び、自律と貢献の志をもつ生徒の育成
～ さわやか十中プライド ～

【めざす生徒像】

- 1 学習の目標と計画を自ら立て、主体的に学び続ける生徒
- 2 決まりを守り、思いやりをもって切磋琢磨する生徒
- 3 心身が健康で、学校や地域の一員として積極的に貢献する生徒

【めざす学校像】 (他校種、家庭・地域、関係機関等を含めた「チーム十中」)

- 1 危機に強く、組織的で機動的な学校
- 2 生徒及び教職員が互いに磨き合い、高め合う文化がある学校
- 3 保護者・地域住民等と協働し、地域の拠点となる学校

III ミッション・ビジョン

使命・存在意義 (ミッション)	持続可能な三次のひとづくりを担う。
本校の将来像 (ビジョン)	地域・保護者等と連携協働し、地域をフィールドとした教育活動を展開することにより、他者と協働してより良い三次を創造する人材を育てる。

IV 重点事項

1 特に育成する資質・能力

- 主体性…自らの役割や責任を認識し、目的を持って意思決定する。(主体的に学習に取り組む態度)
- 自律性…自他の立場を尊重し、表現する。(知識・技能)
- 協働性…よりよい社会や生活をつくるために、行動する。(思考・判断・表現)

2 特に努力する事項

生徒全員が、「当たり前のことを、ベストを尽くして、ちゃんとやりきる」ことで、一人一人が着実に希望進路を実現する力を付ける。

1 高い知性

「生徒指導の実践上の視点」を活かした授業づくり

- ・自己存在感の感受を促進する
- ・共感的な人間関係を育成する
- ・自己決定の場を提供する
- ・安全・安心な風土を醸成する

2 うるわしい人格

- ・安全・安心の徹底…いじめ・暴力根絶、不登校対策等をはじめとする積極的な生徒指導の推進
- ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、無言清掃、時間励行等の充実

3 たゆまぬ勤労

- ・整理・整頓・清掃の徹底
- ・自治活動の活性化…生徒会活動を日常的・計画的に仕組み、生徒の主体性・自立意識を高める
- ・地域貢献…地域社会の一員として自らの役割を積極的に果たし、地域社会に貢献する

V 中心課題・行動規範

何のためかを主体的に判断し、行動する教職員

【教職員の遵守規範・行動指針】

1 十日市中学校教職員としての誇り

「プロ意識」…教師としての誇りと情熱をもって
「バランス感覚」…職場、家庭、地域の一員として
「人間性の陶冶」…自己を磨き、学び続ける

2 基底となる危機管理意識「さしすせそ」

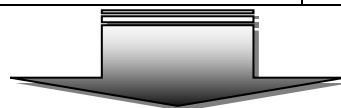
さ：最悪を考えて
し：慎重に、事実に基づいて
す：素早く
せ：誠意を持って
そ：組織的な対応を

3 職務遂行の基本

「コミュニケーション」…情報共有の徹底（報告・連絡・相談・確認）
「整理整頓」…校務環境の整備（不祥事防止）
「根拠に基づく職務遂行」…経験則でなく、根拠をもった説明や指導

VI 現状分析

外部環境	【支援的要因】 ◇多様な学校支援体制（保護者、地域、関係機関等） ◇小中一貫教育推進組織による校区内連携体制 ◇コミュニティ・スクールの推進 ◇ICT設備充実	【強み】 ◇市中心部に位置する学校環境 ◇市内最大の生徒数 ◇多種多様な人材の存在（生徒・保護者・地域・関係機関等） ◇行事や地域貢献等に積極的に参加する生徒	内部環境	【支援的要因と強みを生かした取組】 ・さらに多様な人材の活用 ・生徒会主体の学校行事や委員会活動の充実 ・地域や小中のつながりを深める活動の実践
	【阻害的要因】 ◆校舎・体育館等の施設・設備の狭小・老朽化 ◆教材研究や生徒と接する時間等の確保の困難性 ◆子育てに困難さを抱える家庭の存在	【弱み】 ◆生徒数の減少 ◆生徒の学力格差、学習環境格差の拡大傾向 ◆不登校生徒・不登校傾向生徒の多さ		【弱みを克服し、阻害的要因と回避する解決策】 ・職員間や関係機関等の情報共有徹底 ・ICT活用 ・補充学習の充実 ・取組の精選・簡素化・効率化



- ① 組織的な授業改善による学力の定着・向上
- ② 明確な目的・目標に準拠した教育活動の精選と目標達成のために必要な資源の選択と集中
- ③ 生徒理解を及び、生徒指導規程に基づく一貫した指導による、安全・安心な学校体制の確。
- ④ 生徒会自治活動のさらなる活性化と積極的な情報発信
- ⑤ コミュニティ・スクールを中心とした保護者・地域との連携協働による家庭支援及び学習支援の展開

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	目標値	担当
高い知性	自己学習能力の向上	基礎学力の向上	- 計画的な授業研究 - 探究テーマをもった単元・題材開発 - 単元テスト、基礎学力定着テスト - ドリル学習の継続 - 学び磨く縦割り合同授業 - 家庭学習課題の改善	定期評価での「思考・判断・表現」の観点評価 定期評価での主体的に学習に取り組む態度の観点評価 三次市学力到達度検査の平均正答率 家庭学習の時間	B以上の生徒を60%以上 B以上の生徒を60%以上 実施学年・教科の半分で全国平均以上 毎日1時間以上する生徒を60%以上	教務部・研究部
		生活習慣の確立	- 生活ノートによる評価 - 試験期間での集中的な取組 - 各種通信による保護者啓発	生活習慣(起床・家庭学習・就寝)の固定割合	時刻が固定している生徒を80%以上	保健安全部
うるわしい人格	自己指導能力の育成	生徒指導諸問題の未然防止	- 特別活動における自己理解・他者理解の諸活動 - 個に応じた組織的な指導対応 - カウンセリング継続 - 諸課題への組織的対応 - 保護者・地域への情報発信	生徒の学校生活への意欲の向上 生徒指導上の諸課題の発生解決状況	- 生徒の出席率前年度比 120%以上 - 朝遅刻生徒を1日5人未満 - 発生件数全件度比 50%以下 1週間以内で解決率 80%以上	生徒指導部
		自己調整力の向上	- 毎月の生活目標による指導 - 学校生活改善についての生徒による総合評価の実施 - 清掃活動の自律化及び活性化	「十日市中学校生徒の基本チェック」の達成率 清掃活動への参加状況	肯定的評価 80%以上 役割を果たして掃除をする生徒を90%以上	生徒指導部
		体力の向上	- 保健体育の授業での体づくり運動の継続 - 生徒が自己目標を設定した主体的な取組	新体力テスト及び事後テストの結果	全項目で県平均以上	生徒指導部
		計画的な放課後活動習慣の確立	- 部活動方針に基づく部活動の実施と指導の徹底 - 放課後補充学習の実施	部活動及び放課後活動への満足度	放課後活動が自分磨きに役立つと思う生徒 90%以上	生徒指導部
たゆまぬ勤労	社会貢献意識の向上	生徒会活動の活性化	- 各委員会での全校活動の企画及び実施(月に1回以上) - 生徒会の学校づくり活動への参画 - 各学校行事実行委員会への生徒会の参画	生徒会活動の生徒による自己評価	生徒会活動の学校づくりへの貢献、活動内容への生徒満足度 80%以上	生徒会
		ボランティア意識の向上	- 校内ボランティア活動の実施 - 地域と連携した活動の企画と生徒による参画の促進	ボランティア活動に参画する生徒の割合	参加生徒 80%以上	生徒会
信頼される学校	学校への信頼度の向上	保護者の教育活動への参画	- PTA 活動における保護者の参画 - 授業参観の充実	保護者による教育活動の評価	学校へ行かさせてよかったと考える保護者 80%以上	総務部
		学校からの情報発信	各メディアを通した学校からの情報発信	保護者の満足度	学校からの情報発信に満足する保護者を80%以上	